おいしいね! 総代会特別号

生協アイチョイス岐阜機関紙

発行責任者
生活協同組合アイチョイス岐阜
理事長　子安　貞継
☎058-215-5566

2025年6月20日(金)10時から、岐阜市ハートフルスクエアーGにおいて、生活協同組合アイチョイス岐阜第20回通常総代会が開催されました。総代114名中111名が出席(実出席29名、書面決議出席82名)され、2024年度とりくみ報告や決算報告、2025年度の事業計画や予算案、役員選任案などについて提議がありその後の採決で全ての議案が賛成多数で可決されました。

議長:石原和子 総代(加茂郡)
来賓:全岐阜県生活協同組合連合会　根崎周一会長理事

はじめに

総代会当日、皆さまの前でお話をさせていただくにあたり、何をお話ししようかと何日か考えました。
そこで今年はどのような年かと考えた時に、
①先の太平洋戦争終戦から80年
②同時に、唯一の戦争被爆国で生きる私たち日本人から見ると…被爆80年
2025年はそんな年に当たります。
しかし地球上では、ロシアとウクライナ、パレスチナとイスラエル、そして最近のニュースではイランとイスラエルの紛争が報じられています。双方に言い分はあるのでしょうが、いかなる理由があるにせよ、
武力や暴力で傷つけられるのは、いつの時代も何の罪もない市民や子どもたちです。
私たち人間は、時として先人の過ちに気付かない、又は気付いていても気付かない振りをする
残念ながらそういう「生きもの」のようです。 本当に悲しくなります。
そんなことを考えていた時にこの「2025年 わたしたちの平和宣言」が私の目に留まりました。
これは6月13日に開催された、日本生活協同組合連合会第75回通常総会において特別アピールとして採択されたメッセージです。 ここに一部を抜粋して紹介させていただきます。
ご家族やご友人…皆さまにとって「大切な人たち」を思い描きながら、読んでいただければ幸いです。

2025年　わたしたちの平和宣言(一部抜粋)
あたたかいご飯が食べられること、安心して眠れること、健康に過ごせること、
大好きなものを「好き」と言えること、誰かといっしょに笑いあえること。
わたしたち生協はこのようなくらしを大切にするために、人と人とがつながり助けあえる社会を目指してきました。
過去の戦争では、国内外で多くの命が失われました。そして、日常のくらしがなくなり、自分らしく生きられない人たちもたくさんいました。平和こそ、日々のくらしを支える原点だということを、改めて確認します・・・・・(後略)・・・・・

この「平和」への願いは、全国の生協とそこに集う組合員の皆さんの共通の願いであると信じます。
それは今を生きる私たちだけではなく、私たちの子孫や未来を生きる人々にとっても共通の願いであるべきです。
おりしも今年2025年は国連が定めた「国際協同組合年」の年でもあります　協同組合の定義・価値・原則を改めて学び合い、問い直しながら協同組合の存在価値、「生協」が進む未来を職員、組合員がともに見つめ直す…
本日の総代会がその「きっかけの一つ」となればこんな嬉しいことはございません。

2025年6月20日　生活協同組合アイチョイス岐阜　理事長(代表理事)　子安 貞継

第1号議案 2024年度のとりくみ報告/2024年度事業報告書および決算関係書類承認の件

組合員活動・理事活動について　1 組合員が参加・参画する活動の充実を図ります。

取組み経過と今後の課題

総代だより

「総代だより」の発行は2024年度2回(4月号、7月号)に留まりました。2020年9月コロナ禍の中にあり、総代の皆さんとどうしたら繋がることができるかと模索しながら始めた「総代だより」の活動でしたがコロナ禍も明け直接お会いすることも含めた新たな活動の検討を始めました。

はなしルフレンズ(地区組合員交流会)

予定していた3回(5月、12月、3月の計12会場)開催することができました。参加する組合員さんからおすすめ商品を聞くことや、その回のテーマから話が広がりとても有意義な交流をさせていただくことができました。リピート参加の組合員さんが多いこともあり、一定の会場で開催することが多くなったことで、新たな地域での開催ができなかったことが課題となります。

テーマ会

■組合員さんと生産者の交流企画として、岐阜県中津川市で70年以上農薬を一切使わずにお茶を栽培している【吉村茶園】を訪問(2024年10月4日)、昨年に続き連合会アイチョイスの大宮隆博理事長を講師に招いた講演会「オーガニックについて一緒に学びませんか」を、多治見市根本交流センターで開催(2024年11月21日)しました。
■できたてウインナーを食べよう！中村屋フードアクト企画(2025.4.2開催)では、中村屋フードアクトの田代社長から、同社の商品へのこだわり(原材料や添加物を使わない)についての話を聞かせていただきながら、子どもたちも楽しくウインナーづくりの体験ができる場となりました。

機関紙

5月、総代会特別号、9月、11月、1月、3月と、計画通り発行できました。組合員理事自らが関わった活動や、参加した産地視察や訪問交流報告など、毎号盛り沢山の内容です。ぜひご一読いただき感想などをいただければ幸いです。

組合員理事会

■毎月開催する組合員理事会では、各活動の情報共有を行うことで組合員理事間の相互理解を深め、活動全体を積極的に進めることができました。
■あいち生協や一宮生協と一緒にアイチョイスグループで取り組む活動では、生産者との交流や討論会など、貴重な場面に参加する機会も数多くありました。アイチョイス岐阜の将来展望"3ヶ年計画"や"総代交流会"など、組合員といっしょに活動を広げていくための話し合いをすることができました。

事業活動について　1 組合員の利用

取組み経過と今後の課題

供給計画 24億9,600万円(前年比108.7%)を目標に取り組みます。
注文受注件数 442,887件(前年比108.9%)
1企画あたりの利用金額 5,636円(前年比較－4円)

	実績	計画比
供給高	25億1,471万円	100.7%
注文受注件数	429,382枚	97.0%
1企画あたりの利用金額	5,857円	+221円

2 仲間づくり(組合員拡大)と新規加入者の利用継続

①4,000名の新しい仲間を迎えます。
加入計画4,000件、脱退予測1,550件、組合員純増数2,450件
年度末組合員数21,799名(前年比112.7%)を目指します。

取組み経過と今後の課題

■仲間づくりは、計画していた4,000件に対して3,472件(計画比86.8%)の結果となりました。郵便局への出展や各地域イベント、ショッピングモール、市役所などにキッチンカーを出展して取り組みました。この取り組みは新規出展先を見つけることが課題です。戸別訪問スタッフは、イベント中心の取り組みとしたことにより訪問にかける時間が計画よりも少なくなりました。年度途中からはイベントと戸別訪問の役割分担をして取り組むこととしましたが、計画していた件数には届きませんでした。
■お問い合わせの9割がベルフェイス(非対面オンライン案内)で対応となっています。わかりやすい資料づくりや話し方、案内時のマナーなどを身につけるために、見本となる対応事例の録画などを参考にしてスキルアップを図りました。
■お友だち紹介は組合員の生協評価とも言えるので、計画以上の紹介をいただけたことはうれしくありがたい限りです。組合員が紹介したくなるような生協を目指して事業運営を行います。

②新規加入者の利用継続

取組み経過と今後の課題

新規でご加入いただいた組合員がスムーズに生協のシステムに慣れていただけるように、初回注文書提出日の前日に電話やメールでのお知らせと不明点など、ご用聞きに取り組みました。加入時には、"アイチョイスはじめてカタログ"の商品をご利用開始から4週間特別価格で購入できるようにしました。お気に入りの商品を見つけていただき利用継続につながるように取り組みました。

3 広報の取り組み

①公式インスタグラム フォロワー数1,700人を目標に取り組みます。

取組み経過と今後の課題

アンバサダー制度(もぐもぐモニター・もぐもぐサポーター)の他、合計6企画のコミュニケーション施策を実施し、フォロワー数は1,888名となりました。モニター10人、サポーター2人の組合員による活動の配信を中心としたことで、エンゲージメント(閲覧後の反応)も高くなり、アイチョイスの魅力が伝わる取り組みとなりました。

②公式LINE お友だち登録の促進施策を継続的に行い、お友だち登録1,500人を目指します。

取組み経過と今後の課題

地区担当職員3人による新規組合員への登録の推進、メール配信と連動したSNSアンケートキャンペーンの施策を中心に、お友だち登録数は1,948人となりました。イベント告知では、組合員来場促進のクーポンを毎月配信し、キッチンカー等でのイベント時に来場組合員とスタッフとの間でコミュニケーションが生まれ、様々な声を聴くことができました。

③担当者NEWS

取組み経過と今後の課題

読みやすい誌面作りのために毎月改善を加えた結果、「とても読みやすくなりました、毎月楽しみにしています」と組合員からのおたよりが届くようになりました。地区担当者への"ありがとうの声"や"今月のメッセージ"への返信は、配送時に組合員との交流ができるように、締め切り後すぐに伝達しています。3月のアンケートでは、60%の組合員が読んでいるとの回答がありました。

CO・OP共済の推進　CO・OP共済加入計画205件の達成に向けて組合員へのお知らせを積極的に行います。

取組み経過と今後の課題

共済加入実績117件達成率57%の結果となりました。期間中に共済担当者が変更となったことや、地区担当者からのお声かけを積極的にできなかったことが要因となります。組合員に向けてコープ共済を知っていただく機会づくりの方法を組み立てることが課題となっています。

協同組合や諸団体、行政との連携について

1 全岐阜県生協連と共に取り組みます

取組み経過と今後の課題

「防災・減災」の取り組みでは、毎月実施されるMCA無線通信訓練に職員とパート職員が積極的に参加しました。「災害用伝言ダイヤル」を活用した訓練や被災状況報告等、非常時に備えた無線使用訓練を行いました。他県での先進事例の学習として、県連拡大版理事会研修(11月:倉敷市)に理事長と専務理事の2名が参加しました。今回は倉敷市社会福祉協議会、岡山県生協連、おかやまコープに依頼して、平成30年7月豪雨災害時の対応や復興にかけての取り組みについての学びの場となりました。
〈岐阜県生協大会〉、〈消費者ネットワーク岐阜〉、〈岐阜県ユニセフ協会〉、〈被爆者の願いを継承する岐阜県民の会〉、〈ぎふハチドリ基金〉、〈協同組合間提携推進の取り組み〉等に積極的に参加し、各種課題に共に取り組みました。

2024年度決算報告

■貸借対照表　2025年3月31日現在(単位:千円)

資産の部		負債の部	
流動資産	575,259	負債合計	322,432
固定資産	62,152	純資産の部	
		組合員出資金	369,020
		当期未処理損失金	54,041
資産合計	637,411	負債・純資産合計	637,411

■2024年度損失処理案　(単位:千円)

当期期首繰越損失金	65,605
当期剰余金	11,564
次期繰越損失金	54,041

■損益計算書　2024年4月1日～2025年3月31日(単位:千円)

科目	決算額	
供給高	2,514,711	①
供給原価	1,960,280	②
供給剰余金	554,431	③=①-②
その他事業収入	60,056	④
事業総剰余金	614,487	⑤=③+④
人件費	122,137	⑥
物件費	505,351	⑦
事業剰余金	-13,001	⑧=⑤-⑥-⑦
事業外収支	29,882	⑨
経常剰余金	16,881	⑩=⑧+⑨
当期剰余金	11,564	

第2号議案 2025年度のとりくみ計画/2025年度事業計画および予算案、役員報酬額承認の件

組合員活動・理事活動について 1 組合員が参加・参画する活動の充実を図ります

総代だより 総代だよりの活動→総代交流会（仮称）の開催へ

総代の任期（現在6月から翌年5月）を2026年度から10月から翌年9月に改めます。今までのタイムスケジュールでは、総代就任後すぐに本番の総代会を迎えることとなり、今後は10月に就任後、総代交流会（仮称：年2回を予定）への参加を通じて、総代や、総代会のことを理解いただいた上で総代会を迎える形に変更します。

はなしルフレンズ（地区組合員交流会）

今年度も3回12会場の開催を計画しています。
毎月開催する「はなしルフレンズ実行委員会」では、参加していただいた組合員アンケートをもとに振り返りを行い、次回の内容について計画を進めています。2025年度は“食”に関わることをテーマの柱としています。

テーマ会

岐阜県の生産者やメーカーへの訪問や交流、学習会など、組合員が参加したくなるような学び場づくりを行います。生産者、メーカー、役職員と組合員が楽しく交流でき、ためになる場となるような企画を実施します。

機関紙

機関紙【おいしいね！】は生協からの大切な情報発信の一つと位置付けています。年5回(5月、9月、11月、1月、3月)プラス「総代会特別号」の発行に向けて取り組みます。また次の段階に進むための論議を深めます。

組合員理事会 組合員理事会は、各委員会で話し合っている組合員活動の情報共有、相互理解を深めることや、アイチョイスグループで取り組んでいる課題について話し合う場となっています。2025年度は、事業や活動の３ヶ年計画策定や総代交流会についても協議を行います。

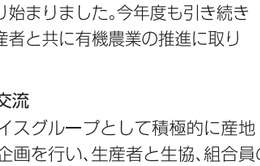
事業活動について 1 組合員の利用

供給高計画　27億5,277万円（前年比109.5%）
注文受注件数　459,229件（前年比107.0%）　を目標に取り組みます。
1企画ひとりあたりの利用金額　5,994円（前年比較＋138円）

供給高は、組合員さんにどれだけお役立ちできたかという組合員満足の結果と捉え、アイチョイス岐阜で取り扱う商品普及を積極的に行います。

2 仲間づくり（組合員拡大）

仲間づくりの取り組みと定着は、生協の事業基盤の安定のために仲間づくりのスタッフと地区担当（配送担当）者が重点的に取り組む課題です。連合会と連携を取りながら、各施策を推し進めます。
4,500名の新しい仲間を迎え、年度末組合員数23,814人（前年比111.7%）を目指します。



3 地区担当の労働環境整備と育成

①配送コースの最適化
各エリアの配送コースを定期的に見直して配送件数や配送順を整え効率良く配送できるようなコースづくりを行います。

②地区担当者の作業軽減
配送出発前にトラックへの商品積み込みや配送帰着後のトラック荷台の片付けなどを庫内作業スタッフが行うことで、地区担当（配送担当者）の作業軽減を行い組合員対応に集中できる環境づくりを目指しています。

③地区担当者の育成
地区担当者の教育・研修の場として、メーカーを招いた商品の試食学習会や試食会、生産者の学習動画視聴など、地区担当者の知識向上につながる場をつくります。

4 広報の取り組み

①公式インスタグラム
〈組合員さんと一緒につくるアカウント〉
双方向のコミュニケーションがとれる企画を継続的に行い、フォロワー数2,800人を目指し取り組みます。

②公式LINE
組合員活動やイベント（キッチンカー）等の情報に加え、2024年度末に実施したアンケートから組合員の求める情報を精査して配信内容を充実させます。年に2回LINEお友だちを増やすキャンペーンを行い、公式LINEの認知度を広げて、お友だち3,000名を計画して取り組みます。

③担当者NEWS
組合員と地区担当者が繋がる情報コンテンツとして、さらに読みやすく親しみやすい誌面作りを行います。今後“生協で働く人の素顔”“仕事風景紹介”などの企画をどのように伝えるかを検討しています。月に1回の配布ですが、担当者のコメントも掲載していますので楽しみにして下さい。

5 CO・OP共済の推進

CO・OP共済は、多くの生協で取り扱っている”もうひとつの商品”です。生協の理念に基づく”助け合い”が基本となっています。組合員の意見・要望から生まれた保証内容は、おすすめするスタッフも自信が持てる内容です。組合員並びに組合員以外の方に向けても積極的にお勧めしていきます。

協同組合や諸団体、行政との連携について

1 全岐阜県生協連と共に取り組みます

①防災・減災の取り組み
全岐阜県生協連は〈防災・減災〉をテーマに会員生協との取り組みを強化しています。他県での先進事例の学習、毎月のMCA無線非常時通信訓練への参加等、生協の事業継続と生協で働く職員を守るための取り組みに、積極的に関わり情報を共有します。

②その他の課題
全岐阜県生協連と県内の各会員生協との連携を深め、〈消費者ネットワーク岐阜〉、〈岐阜県ユニセフ協会〉、〈被爆者の願いを継承する岐阜県民の会〉、〈ぎふハチドリ基金〉、〈協同組合間提携推進〉等の各種課題に共に取り組みます。

2 アイチョイスグループとして共に取り組みます　国産オーガニックの推進

①ORGANIC SMILE 有機の学校の運営支援
組合員への取り組み広報を行いながら、フレンド会員（賛助会員）募集などの支援を継続します。学校を運営するNPO法人の運営の安定に向けて、会員拡大、生徒募集、事務局機能の強化など、可能なサポートを継続します。

②オーガニック給食推進
全国オーガニック給食協議会の呼びかけに応じて活動に参加するほか、学校給食のオーガニック化を進めるために具体的に何ができるかの論議を始めます。

③美浜武豊オーガニックビレッジ推進
2025年3月にオーガニックビレッジ宣言をした美浜町・武豊町と地元生産者の知多の恵みグループと共に、愛知県美浜町・武豊町のオーガニックビレッジ推進に取り組みます。

④飛騨市オーガニックビレッジ推進
オーガニックビレッジを目指す飛騨市との交流が昨年度より始まりました。今年度も引き続き市や地元生産者と共に有機農業の推進に取り組みます。

⑤日本有機加工食品コンソーシアムへの参画と有機加工食品開発強化
有機穀物部会、商品開発部会、食品残渣堆肥化部会に参加し、全国の仲間と共に、川上（生産）から川下（消費）までが、有機の基準に従い機能的につながるサプライチェーンの構築、オーガニック市場の拡大を目指します。有機加工食品の開発を強化します。

⑥産地訪問交流
アイチョイスグループとして積極的に産地訪問交流企画を行い、生産者と生協、組合員の絆を深め、有機農業の推進に取り組みます。組合員アンバサダーを増やし、理解と共感を広げる取り組みにして行きます。

2025年度予算案

2025年4月1日～2026年3月31日（単位：千円）

科目	予算額	前年比
供給高	2,750,854	109.4%
供給原価	2,137,483	109.0%
供給剰余金	613,371	110.6%
その他事業収入	62,136	103.5%
事業総剰余金	675,507	109.9%
人件費	117,684	96.4%
物件費	567,731	112.3%
事業剰余金	-9,908	76.2%
事業外収支	28,186	94.3%
経常剰余金	18,278	108.3%

第3号議案 総代選挙規約の一部変更の件

2026年度より総代の選出時期並びに任期を変更するにあたり、総代選挙規約第5条2項を以下の通り変更します。

（選挙の公告）　第5条

2　総代選挙において選挙権および被選挙権を有する者は、その年の3月31日（⇒7月31日に変更）に組合員名簿に登録されている者とする。

議案採決結果

第1号議案	賛成	反対	保留	計
出　席	28	0	0	28
書面決議書	81	0	1	82
計	109	0	1	110

第2号議案	賛成	反対	保留	計
出　席	28	0	0	28
書面決議書	80	0	2	82
計	108	0	2	110

第3号議案	賛成	反対	保留	計
出　席	28	0	0	28
書面決議書	81	0	1	82
計	109	0	1	110

第4号議案	賛成	反対	保留	計
出　席	28	0	0	28
書面決議書	81	0	1	82
計	109	0	1	110

第5号議案	賛成	反対	保留	計
出　席	28	0	0	28
書面決議書	81	0	1	82
計	109	0	1	110

第4号議案 役員選任案決定の件

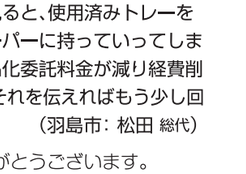
今総代会において、2025年度から2年間の役員体制が決まりました。
理事長、専務理事、及び代表理事については総代会後の第1回理事会において互選されました。

■理事：11名

理事長（代表理事）	子安　貞継	常勤
専務理事（代表理事）	浅野　正嗣	常勤
理事	伊藤　久代	組合員理事（非常勤）
理事	大宮　隆博	員外（再任）
理事	鬼頭　尚子	組合員理事（非常勤：新任）
理事	杉村　菜美	員外
理事	新川　裕理	組合員理事（非常勤）
理事	花田　純子	組合員理事（非常勤）
理事	柳原　美雪	組合員理事（非常勤）
理事	山田　博子	組合員理事（非常勤）
理事	湯原　清子	組合員理事（非常勤）

■監事：4名

小木曽　香苗	組合員監事（非常勤）
小澤　育代	組合員監事（非常勤：新任）
寺西　道治	員外
三谷　雅昭	員外



第5号議案 役員退任慰労金支給の件

本通常総代会の終了をもって退任されます役員に対して、在任中の功労に報いるため当生協の役員退任慰労金規程に基づき支給いたします。具体的金額、支給の時期、方法等は理事会の協議にご一任いただきました。

■退任役員

氏名	略歴	備考
牛田　伸行	2019年理事就任（3期・6年）	生活協同組合連合会アイチョイス常務理事
山田　尚義	2008年理事就任（1期・2年） 2017年理事就任（3期・6年）	専務理事 常務理事

※牛田伸行氏につきましては、生活協同組合連合会アイチョイス常務理事他との兼務のため、本退任慰労金の支給対象ではありません。

2025年度総代名簿（敬称略順不同）

1	秋松　吉子	岐阜市
2	浅野　須磨子	岐阜市
3	池田　信子	岐阜市
4	石原　和子	加茂郡
5	市川　久美子	岐阜市
6	伊藤　温子	各務原市
7	伊藤　理江子	土岐市
8	伊藤　みち子	海津市
9	上奥　真美子	岐阜市
10	上野　大輔	岐阜市
11	梅田　英美加	岐阜市
12	小川　由美子	瑞穂市
13	小川　良江	一宮市
14	小木曽　友香	岐阜市
15	奥田　聡美	岐阜市
16	奥村　ともみ	郡上市
17	小倉　真由美	揖斐郡
18	葛西　希美	岐阜市
19	加藤　洋子	岐阜市
20	金子　彩子	各務原市
21	金子　せつ子	岐阜市
22	加納　舞子	揖斐郡
23	河合　一恵	瑞穂市
24	河合　照子	岐阜市
25	河合　直樹	多治見市
26	河出　里恵	一宮市
27	河村　敏彦	本巣郡
28	北川　友香子	各務原市
29	木村　幸子	大垣市
30	串田　房子	岐阜市
31	葛谷　季穂	岐阜市
32	久世　早苗	瑞穂市
33	桑原　直美	岐阜市
34	興膳　純子	郡上市
35	小久保　みずほ	岐阜市
36	後藤　千恵	岐阜市
37	後藤　奈嘉子	大垣市
38	小森　尚子	各務原市
39	佐野　綾子	恵那市
40	澤田　真里子	岐阜市
41	篠田　友子	岐阜市
42	清水　愛保	安八郡
43	清水　真弓	関市
44	下高原　亜耶	各務原市
45	進藤　亜弥	各務原市
46	杉野　香鈴	岐阜市
47	杉原　さち子	岐阜市
48	杉本　沙緒里	揖斐郡
49	炭竈　久代	岐阜市
50	曽我部　敦子	岐阜市
51	高井　洋子	岐阜市
52	高橋　和代	大垣市
53	竹中　有香	岐阜市
54	竹村　京子	岐阜市
55	田中　敦子	瑞浪市
56	田中　京子	岐阜市
57	丹所　敬偉子	山県市
58	辻田　奈美子	瑞浪市
59	戸谷　朋子	岐阜市
60	内木　あけみ	岐阜市
61	長久保　若菜	大垣市
62	中村　佐和子	大垣市
63	長屋　つき子	岐阜市
64	永吉　祐子	郡上市
65	成瀬　あゆみ	岐阜市
66	西田　加奈子	岐阜市
67	西村　碧理	瑞穂市
68	西脇　歩	関市
69	新田　幸子	岐阜市
70	布山　幸子	岐阜市
71	野田　和枝	岐阜市
72	野原　範子	岐阜市
73	野村　幸司	安八郡
74	長谷川　秀一	岐阜市
75	服部　裕子	岐阜市
76	林　亜由子	揖斐郡
77	原　実加	大垣市
78	坂　美佐	羽島郡
79	廣瀬　沙桜里	瑞穂市
80	藤田　明美	郡上市
81	古川　古都	岐阜市
82	細江　尚子	下呂市
83	堀　彩	郡上市
84	堀部　里美加	岐阜市
85	本郷　多輝子	大垣市
86	松岡　律子	揖斐郡
87	松田　由美子	羽島市
88	松山　ひかる	羽島郡
89	三浦　登代子	岐阜市
90	翠　裕美	本巣市
91	宮田　眞木子	瑞穂市
92	武藤　千加子	山県市
93	武藤　由佳子	岐阜市
94	村瀬　展子	山県市
95	村瀬　万里子	山県市
96	毛利　奈緒子	岐阜市
97	森　光子	岐阜市
98	森下　文博	羽島郡
99	守屋　玲子	瑞浪市
100	山内　千香子	加茂郡
101	山内　直子	可児市
102	山内　通予	関市
103	山下　葉子	岐阜市
104	山田　純子	郡上市
105	山田　知浪	加茂郡
106	山田　美奈子	郡上市
107	由留木　正之	郡上市
108	吉川　友香	大垣市
109	吉田　亜侑美	不破郡
110	吉田　知加	大垣市
111	和田　麻有美	郡上市
112	渡邉　伸夫	多治見市
113	渡邊　路枝	羽島郡
114	渡辺　恵	土岐市

質疑応答 事前集約分で出された意見・質問とその回答を報告します

（紙面の都合で抜粋しての報告となります。申し訳ございません。）

Q. 【はなしルフレンズ】に参加したいので開催日をもう少し早めにお知らせいただけると予定を合わせられます。　（大垣市：吉川 総代）

A. 【はなしルフレンズ】に参加したい！という、うれしいご意見ありがとうございます。市町村のコミュニティーセンターで開催する事が多いため、多くの施設が開催月の前月1日より予約受付開始となります。そのため、以前は予約完了後にアイ・メール（お届けする商品案内を挟んでいる用紙）やホームページを使い組合員さんにお知らせしていました。この開催案内については、実行委員会でも組合員さんにもっと早くお知らせをしたいという声があり、2025年3月開催から予告として、約2か月前からお知らせをさせていただくことにしました。

Q. 食材セットのトレー回収について、リサイクルの流れて見ると、使用済みトレーをどこに出しても変わらないと思って、消費者は近所のスーパーに持っていってしまいます。アイチョイス岐阜として回収量が多いほど再商品化委託料金が減り経費削減になったりするのでしょうか？もしそうなら組合員にそれを伝えればもう少し回収率は上がるのではないかと思います。　（羽島市：松田 総代）

A. 食材セットのトレー回収・リサイクルへのご意見ありがとうございます。トレー回収は、環境保護や資源の有効活動と合わせて、「容器包装リサイクル法」によって食品トレーを製造・販売する企業にはリサイクルの義務が課されています。よって、企業は法的責任を果たすためにそれぞれ積極的に回収活動を行っています。回収量による再商品化委託料金などはありませんが、リサイクル業者に1ｋｇ3円で買い取っていただいています。

他にも、小久保 総代（岐阜市）、小倉 総代（揖斐郡）から貴重なご意見・ご質問をいただきました。皆さん、ありがとうございました。